

**Denyo**

# 環境報告書

Environmental Report

2019



# 目次 Contents

編集にあたって…p.3

マネジメント…p.4

社長メッセージ

環境基本理念

環境基本方針

環境管理体制

環境目標と実績

環境負荷の全体像

環境リスクマネジメント

製品における環境配慮…p.12

環境性能の高い製品開発

生産面における環境配慮…p.14

地球温暖化防止

資源循環型社会の形成

化学物質の管理

環境保全・地域貢献活動…p.20

環境保全活動

地域貢献活動



# 編集にあたって Editorial Statement



## 情報開示体制

持続可能な社会の実現に向けた当社の環境面における取り組みについて、お取引先様や株主様をはじめとするステークホルダーの皆様へ下記の媒体にて情報を開示しております。

【年次環境報告書】



【ホームページ】

<http://www.denyo.co.jp>



## お問い合わせ先



**デンヨー株式会社**

〒103-8566

東京都中央区日本橋堀留町2-8-5

ホームページ <http://www.denyo.co.jp>

経営企画部 TEL : 03-6861-1111

FAX : 03-6861-1185

## 報告対象期間

2018年度(2018年4月～2019年3月)及び一部内容についてはその前後の期間。

## 発行時期

2019年10月

## 免責事項

本環境報告書には、将来についての予想及び見通しが含まれている場合もございます。これらは様々な要素の影響により、実際と異なる結果になることがあります。

# マネジメント

Management



## *Contents*

社長メッセージ	…p.5
環境基本理念	…p.6
環境基本方針	…p.6
環境管理体制	…p.7
環境目標と実績	…p.8
環境負荷の全体像	…p.9
環境リスクマネジメント	…p.10

# マネジメント Management



## 社長メッセージ



この度は環境報告書をご覧いただき、誠にありがとうございます。  
さて、2018年度は台風・豪雨・猛暑・豪雪と異常とも言える気象となりました。このような異常気象は日本だけでなく世界的に連鎖しており、誰しもが環境問題に強い関心を寄せています。そしてこの環境問題に対処するため、社会の一員である企業に対しても環境に配慮した事業活動の要求が高まっています。そのような中、グローバルに事業を展開している当社では、環境に配慮した活動や製品の開発を積極的に進め、深刻化する環境問題の改善に向け努力しております。具体的な活動に関しましては前年に引き続き、環境マネジメントシステムのISO14001をベースとした環境活動を行い、省エネ等に配慮した設備の導入や3R活動・緑化活動など、CO<sub>2</sub>及び廃棄物削減のための活動に取り組んでまいりました。

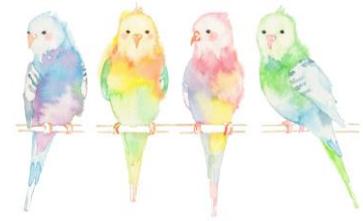
当社は今後も持続可能な社会の形成に貢献してまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

2019年10月

デンヨー株式会社  
代表取締役社長

白鳥昌一

# マネジメント Management



## 環境基本理念

デンヨーは、パワーソース製品の提供を通じて、社会インフラの拡充等にグローバルに貢献すると共に、企業の社会的責任として環境保全を深く認識し、環境と調和した事業活動を積極的に推進します。

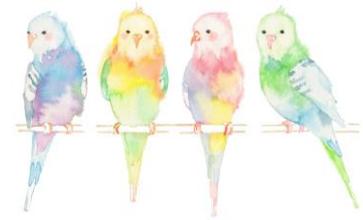


デンヨー株式会社 福井工場

## 環境基本方針

1. 事業活動における、省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の削減、臭気・騒音の低減等、健全な環境の維持向上を図ると共に、環境に配慮した製品の提供を推進し、汚染の予防に努めます。
2. 環境に関連する法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を順守すると共に、関連する社会的要求を尊重します。
3. 環境保全に取り組むためにISO14001:2015年版に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、その継続的な改善を図ると共に、環境目的及び目標を設定し、そのレビューを通じて環境パフォーマンスの向上に努めます。
4. 環境方針は文書化し、従業員及び当社のために働く人全員に周知すると共に、利害関係者からの要求も含めて、公開HP上で広く一般に開示します。
5. プロセスの有効性と効率を継続的に改善し環境目標の達成を期します。

# マネジメント Management

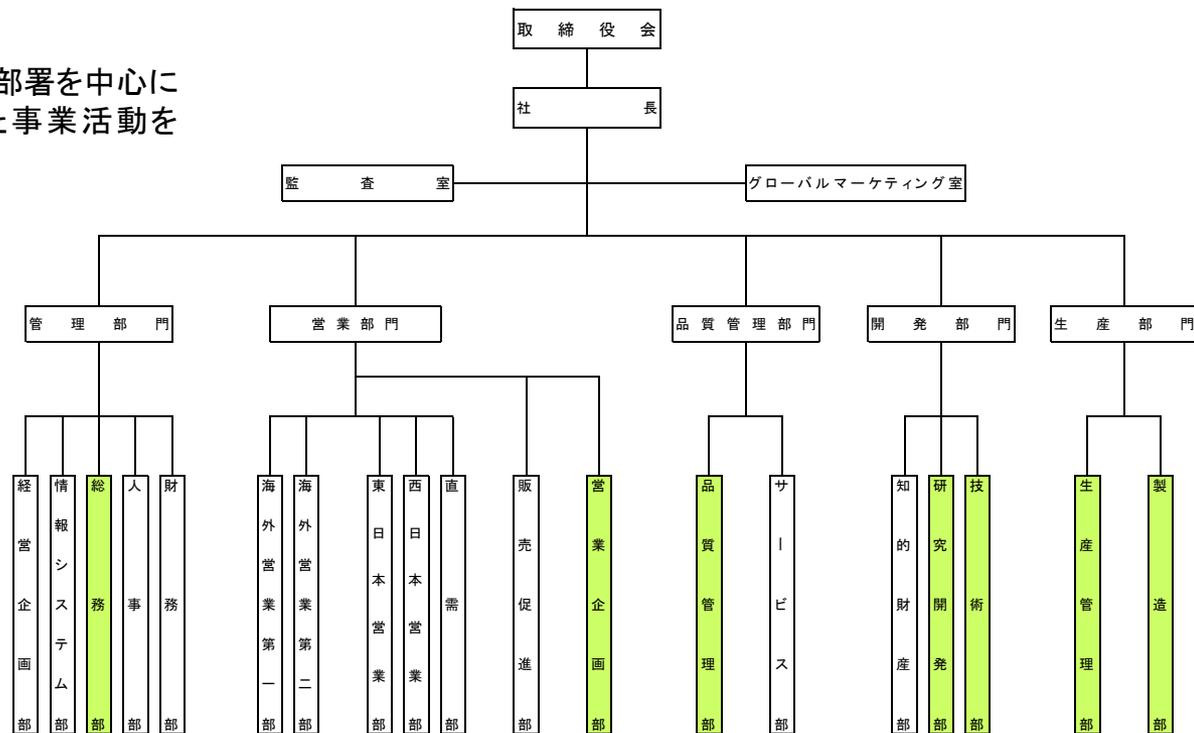


## 環境管理体制

### ◎ 推進体制

デンヨーでは、下記の推進部署を中心に環境負荷の低減に向けた事業活動を推進しております。

■ …推進部署



### ◎ ISO14001認証取得

デンヨーは、社長をシステム経営者として環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、国際規格ISO14001:2015の認証を取得しております。EMSを運用する中で、事業活動の環境影響を評価し、重要な課題については具体的な目標を掲げ年間計画を作成し、省資源・省エネルギーの推進による環境負荷の低減、環境リスクの予防活動を行っております。

# マネジメント Management

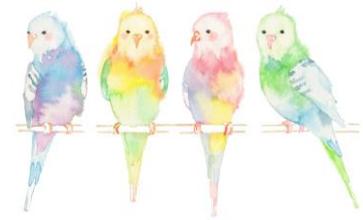


## 環境目標と実績

環境経営を実現するために、年度毎に目標を定めその評価を随時行っております。

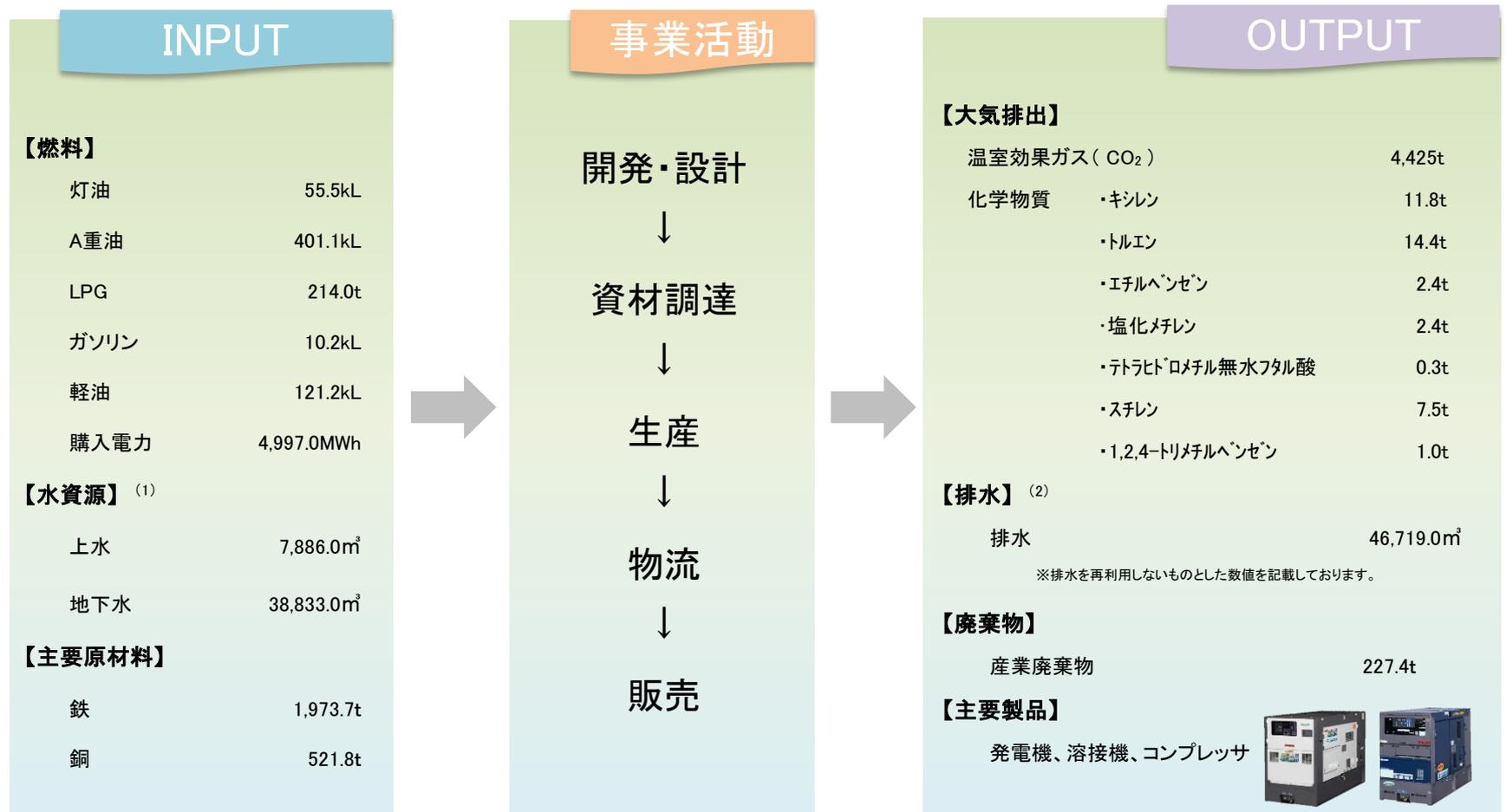
項目	2018年度の目標	2018年度の実績	2019年度の目標
環境性能の高い製品の開発	「環境配慮型製品」を開発する。	低燃費「回転制御ガソリンTIG溶接機」の開発 「エコベースナチュラルガス発電機」の開発	「環境配慮型製品」を開発する。
資源循環型社会の形成	2018年度末までに「生産高当たりの産業廃棄物の量」を2016年度比9%以上低減する。	2016年度比生産高当たり18.0%減	2019年度末までに「生産高当たりの産業廃棄物の量」を2016年度比12%以上低減する。
	2018年度末までに「生産高当たりの原油換算エネルギー使用量」を2016年度比3%以上削減する。	2016年度比生産高当たり6.5%減	2019年度末までに「生産高当たりの原油換算エネルギー使用量」を2016年度比6%以上削減する。
社会貢献活動	「事業所周辺地域に隣接するグリーンベルト」の整備充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井工場では正面玄関にプランターを設置し、南側斜面にツツジの植栽を実施。</li> <li>・開発研修センターでは日々のグリーンベルトの維持管理および定期的な事業所周辺の清掃活動を実施。</li> </ul>	「事業所周辺地域に隣接するグリーンベルト」の整備充実を図る。

# マネジメント Management



## 環境負荷の全体像

デンヨーでは事業活動の物質投入量を把握し、環境負荷低減に努めております。



注 (1)(2)の集計対象範囲は、福井工場・滋賀分工場となります。

# マネジメント Management



## 環境リスクマネジメント

デンヨーでは、事業活動において、突発的な事故・災害などによる環境リスクを想定し、予防、早期対応、緩和を目的とした定期的な教育・訓練を実施しております。  
適切な対応手順の確認と継続的な改善活動を行っております。

### 【緊急事態対応教育・訓練】

開催日	2018年7月26日
開催場所	滋賀分工場
参加者数	63名
内容	工場にて燃料・油・薬品が流出した際の対応、緩和資材の使用方法について



# マネジメント Management



## 環境リスクマネジメント

### 【消防訓練】

デンヨーでは、業務中に火災が発生した場合に備えて、定期的に消防訓練を実施しております。

福井工場  
での  
訓練の様子



開発研修  
センターでの  
訓練の様子

# 製品における環境配慮

Eco-Friendly Products

## *Contents*

環境性能の高い製品開発 …p.13

アフタークーラエコベースコンプレッサ

バッテリー電源装置



# 製品における環境配慮

## Eco-Friendly Products



### 環境性能の高い製品開発

#### ◎ アフタクーラエコベースコンプレッサ

アフタクーラ付コンプレッサは、圧縮空気を冷却する際に水が発生し、このドレン水を廃棄物として処理する必要がありました。

DIS-80LBE-Cは、発生したドレン水を機内で処理する構造(特許出願中)を新たに採用しました。これによりドレン水の廃棄処理が不要になります。



DIS-80LBE-C

#### ◎ バッテリー電源装置

バッテリー電源装置は、排出ガスを発生させないのでトンネル工事や屋内工事などエンジン発電機が入れない現場の電源として使用していただくことができます。エンジン音も発生しないことから周囲にストレスを与えることのない環境に優しい製品です。

また、バッテリーにはリチウムイオンバッテリーを採用しており、小型軽量、大容量化を実現したほか、一般的な鉛電池と比較して寿命が長く、その間の電池交換が不要となりますので、交換作業が軽減されるばかりか、廃棄物削減の面からも環境配慮型の製品となっております。



LIBP-2000

# 生産面における環境配慮

Eco-Friendly Production

## *Contents*

地球温暖化防止 ……p.15

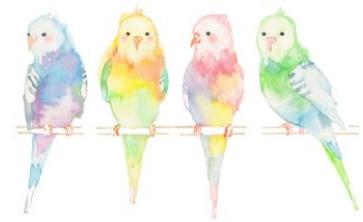
資源循環型社会の形成 ……p.16

化学物質の管理 ……p.19



# 生産面における環境配慮

## Eco-Friendly Production



### 地球温暖化防止

#### ◎ CO<sub>2</sub>排出削減

デンヨーでは、事業活動にともない排出されるCO<sub>2</sub>の削減に取り組み、地球温暖化防止に努めております。  
2018年度のCO<sub>2</sub>排出量は4,425tで、2016年度比7.1%減となりました。  
CO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みを今後も継続的に実施してまいります。

	電気 使用量 (千kWh)	燃料等 使用量 (GJ)	換算後の CO <sub>2</sub> 排出量(t)	売上高(百万円) 当たりのCO <sub>2</sub> 排出量(kg)
2018年度	4,997.1	33,513.2	4,425	116.6
2016年度	4,932.7	34,088.2	4,762	135.6
2016年度比	+ 1.3 %	△1.7%	△7.1 %	△14.0%

※売上高はデンヨー単体の売上高です。



# 生産面における環境配慮

## Eco-Friendly Production

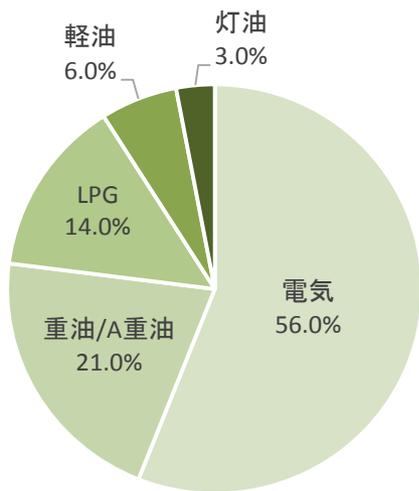


### 資源循環型社会の形成

#### ◎ エネルギー削減の取り組み

2018年度の生産高あたりの原油換算エネルギー使用量は75.8L/百万円で、2016年度比6.5%減となりました。2016年と比べ使用エネルギー量はほぼ横ばいですが、生産高の増加と設備・機器の更新などにより生産効率が向上し、生産高あたりの原油換算エネルギー使用量が減少しました。

消費エネルギーの内訳(原油換算)

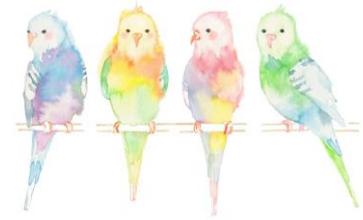


使用エネルギー量及び  
生産高あたりの原油換算エネルギー使用量



# 生産面における環境配慮

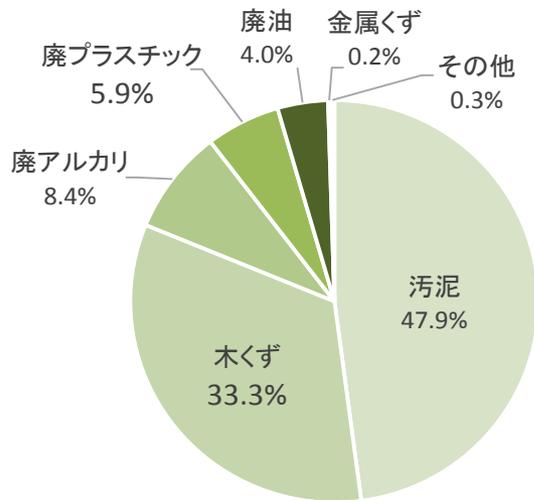
## Eco-Friendly Production



### 資源循環型社会の形成

#### ◎ 廃棄物の削減

廃棄物については、関係諸法令に従い適切に管理及び処理を行っております。  
2018年度の産業廃棄物の排出量は約227tで、2016年度比生産高当たり18.0%減となりました。  
今後も安定的に一定量以上の廃棄物を削減できるよう、引き続き取り組んでまいります。



廃棄物の排出量内訳

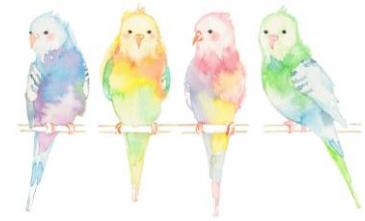
※集計対象範囲は福井工場及び滋賀分工場となります。

産業廃棄物量及び  
生産高あたりの産業廃棄物量



# 生産面における環境配慮

## Eco-Friendly Production



### 資源循環型社会の形成

#### ◎ 3R活動

近年、私達の生活に欠かせない石油などの資源の枯渇や、ごみの最終処分場不足などが問題となっており、3R (Reduce・Reuse・Recycle) の重要性が高まっています。デンヨーでは、限りある資源を有効活用し、環境に与える負担を少しでも小さくするため、様々な取り組みを行っています。ここでは、その活動の一部をご紹介します。

#### Reduce / Reuse

デンヨーでは、製品などを輸送する際に使用する荷役台を木製パレットから鉄製パレットに変更しております。不要になった木製パレットについては、木製パレットを使用している企業様に引き取っていただき、2018年度は木製パレット826枚を再利用していただきました。これにより、木くず排出量の15%にあたる約14tの廃棄物が削減できました。

#### Recycle

製造工程で発生した木くずは全て燃料として、汚泥・廃プラスチック・廃アルカリは37%がセメント原料として、廃油は79%が再生油としてリサイクルされました。これにより、2018年度は廃棄物約227t中、57%にあたる約130tがリサイクルされ、新たな原料として生まれ変わりました。



# 生産面における環境配慮

## Eco-Friendly Production



### 化学物質の管理

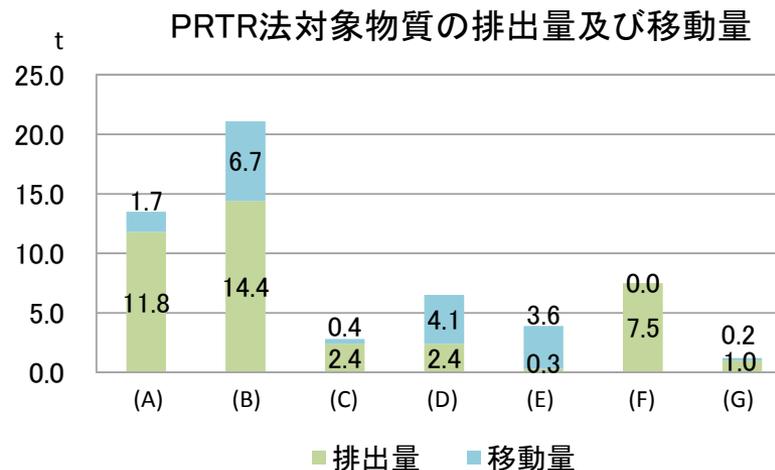
#### ◎ PRTR対象化学物質の管理

PRTR法に基づき、PRTR対象化学物質の環境への排出量、廃棄物としての移動量を把握し、集計・公表しています。

※PRTR(Pollutant Release and Transfer Register : 化学物質排出移動量届出制度)とは、有害性のある多種多様な化学物質がどのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計・公表する仕組みです。

物質名	大気への 排出量	移動量
(A) キシレン	11.8	1.7
(B) トルエン	14.4	6.7
(C) エチルベンゼン	2.4	0.4
(D) 塩化メチレン	2.4	4.1
(E) テトラヒドロメチル 無水フタル酸	0.3	3.6
(F) スチレン	7.5	0.0
(G) 1,2,4-トリメチルベンゼン	1.0	0.2

(単位: t)



# 環境保全・地域貢献活動

Environmental conservation & community contribution activities

## *Contents*

### 環境保全活動

燃料電池式可搬形発電機と電源車への  
取り組みについて ……p.21

屋上緑化 ……p.22

水質監視 ……p.22

### 地域貢献活動

インターンシップの開催 ……p.23



# 環境保全・地域貢献活動

Environmental conservation & community contribution activities



## 環境保全活動

### ◎ 燃料電池式可搬形発電機と電源車への取り組みについて

デンヨーでは、環境省の「CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」の採択を得て、「燃料電池式可搬形発電装置と電源車の技術開発・実証」事業に他社と共同で取り組むことになりました。

燃料電池自動車（FCV）の一般販売が始まり、燃料である水素の供給を担う水素ステーションの整備が進められる中、可搬形発電機のトップメーカーとして、可搬形発電機及び電源車の燃料電池化が、将来的な地球温暖化対策につながると考え、開発・実証に取り組むことにいたしました。

当社では、太陽光発電や風力発電といった再生可能エネルギーの電力から製造される水素を利用可能な、可搬形発電機や電源車の燃料電池システムと、様々な負荷機器に対応可能なパワーコンディショナーを開発・実証することで、CO2排出量の削減に貢献してまいります。



# 環境保全・地域貢献活動

Environmental conservation & community contribution activities



## 環境保全活動

### ◎ 屋上緑化

デンヨーでは、環境と調和した事業活動を推進するという環境基本理念に基づき、2012年度から本社ビルの屋上緑化をしております。屋上緑化をすることで、建物の温度上昇を抑制することができ、それによりヒートアイランド現象の緩和や、冷房効率を向上させる効果があります。本社屋上緑化面積は、植栽プランターと合わせて屋上面積の38% (40.88㎡) を占め、土壌は夏場の乾燥時にもよく耐える軽量人工土壌を使用しております。また、四季を感じ取れるよう花が咲くものを中心に約20種類もの品種が賑わいを見せるので、気分転換ができ、休憩スペースとして多くの社員に利用されております。



### ◎ 水質監視



福井工場では、排水処理した水を河川に放流する前に敷地内に設けた調整池に一度貯める方式をとっております。

生物が棲息可能な状況が確保できているか水質監視を行い、万一、1次排水にて汚染水が流出してしまった場合にも、汚染水を直接河川に放流してしまうといったリスクを最小限に抑えることができます。

# 環境保全・地域貢献活動

Environmental conservation & community contribution activities



## 地域貢献活動

### ◎ インターンシップの開催

福井工場では、地元住民の皆様にご理解いただき、より身近に感じていただくために、地元の小学生や高校生に向けた工場見学会や高校生のインターンシップをはじめとする様々なイベントを開催しております。今後も地域の皆様との結びつきをさらに強くできるよう、このようなイベントを積極的に開催してまいります。



艀装部品へのシール材貼付け作業



塗装品質の確認作業





●技術で明日を築く ————— デンヨー®

**Denyo®**

 **デンヨー株式会社**

本 社：〒103-8566 東京都中央区日本橋堀留町2-8-5  
TEL:03(6861)1111 FAX:03(6861)1181  
ホームページ：http://www.denyo.co.jp/